

あおもり市議会だより

ぎかいの森

令和7年第1回臨時会・第1回定例会の内容を
わかりやすく 市民の皆さんにお伝えします

田酒

金冠
雲々泉

Vol. 33

令和7年5月

特

集

酒造り

in あおもり

目次

特集	P 2
議決した主な議案	P 4
こんなことを聞きました。	P 6
トピックス	P 16

特

集

酒 造 り

in あ お も り

今回のテーマは「酒造り」です。昨年12月に、日本の「伝統的酒造り」がユネスコ無形文化遺産に登録されました。「伝統的酒造り」とは、日本酒や焼酎など、米・麦等を原料に、こうじ菌を使った酒造り技術のことで、日本各地の気候風土に応じて発展し、受け継がれてきました。そこで今回は、市内で唯一酒造店を営み、「田酒」「喜久泉」の醸造元である株式会社西田酒造店にスポットを当て、西田司社長に、酒造りに関する様々なお話を伺ってきましたので、その内容をお届けします。



今回、取材にご協力いただいた西田司社長。酒造りの現場に立つとともに、常日頃、製造工程や労働環境など、改良できる部分はないか、従業員と話し合いを行っています。

〔議員〕 本日はよろしくお願ひします。まずは、昨年の夏の猛暑、そして深まらない秋でしたが、酒米に影響はありましたか？

〔西田社長〕 酒米においてもここ何

年か高温障害が問題になっていて、硬い米になるため、もろみの段階で米が溶けず、かすが増え、取得量が少なくなります。

〔議員〕 米の価格も上昇傾向ですが、価格転嫁となりますか？

〔西田社長〕 原料である酒米の価格が上がっていますから最終的には

そうなりますね。それに、電気代・燃料代・瓶や箱代なども上がっていて、今年の秋から値上げをしないと難しいかなと思っています。

〔議員〕 コロナが落ち着いて、酒の動きはどうですか？

〔西田社長〕 コロナ禍では家飲み需要が多くなったんですが、家飲みでは飲食店で飲むよりも量が少ないので、売上が3割減とか、ひどいところだと半分くらいに落ちています。一昨年くらいから外飲みが増えてきましたが、量的にはコロナ前までには全然戻っていません。

〔議員〕 昨年、伝統的酒造りが無形文化遺産に登録されたことについて、今後、期待することなどはありますか？

〔西田社長〕 日本酒は輸出が非常に伸びてきていて、海外の人たちに

日本酒が受け入れられると、輸出がもっとこれから伸びていくといういい面が出てくるんじゃないかなと思います。

〔議員〕 今、インバウンドで外国人がホタテ料理を食べ、田酒をおかわりして飲んでいるのを、どのような思いで見えていますか？

〔西田社長〕 うちの酒の造り方の特徴の話になりますが、一般的に今はやりの酒というのは、甘くて香りが高いお酒なんです。これはインパクトが強く、「もう一杯」となりにくいんですが、うちの酒は甘い酒ではなく、旨い酒を目指しています。これは出汁の旨味と同じで、インパクトが強過ぎず、香り穏やかなのが特徴です。ホタテに合わせたのは事実で、日本酒とホタテを合わせると抜群においしいんです。なので、「もう一杯」とおかわりがくるんです。

〔議員〕 そういうことなんですね。

ところで、西田酒造さんでは若手社員も多く、様々なスポーツイベントに出ていると聞きますが？

〔西田社長〕 あおもり桜マラソンには10人ほどエントリーしました。あと、自転車部員が10人以上いて、毎年岩木山のヒルクライムレースに出ています。

〔議員〕 社長のところではいろいろな行事に対して、皆さん参加されているんですね。

〔西田社長〕 結束を強めるために少しずつ改革をして、みんなが参加したくなるようにしてきました。

〔議員〕 酒造りについても様々な改革をしてきましたか？

〔西田社長〕 大分変えてきました。私は、職場は常に、楽しく仕事しようというのをモットーにしています。確かに仕事できつい部分もあるかもしれませんが、できるだ

けそこも楽に、例えば、こういう機械があればこの作業が楽になるとか、社員には、そういった手を抜く努力をしないと言っています。社長になって20年そんな感じでやってきたので、労働環境はよくなってきたと思います。もっとよくするために、現場では社員と「こうしたらいいじゃん」、「いや社長、そうじゃないです」というようなやり取りをしています。

〔議員〕 そうした工夫が、おいしい酒造りにつながるのですね。本日はありがとうございました。



取材を終えて。
ご協力誠にありがとうございました。

（取材日：令和7年2月26日）

左から、里村議員、西田社長、柿崎議員

青森市議会で

議決した主な議案です。

令和7年第1回臨時会

会期1日間 1月27日

令和7年第1回定例会

会期33日間 2月20日～3月24日

第1回臨時会で可決した議案

市長提出議案1件中……………1件
(可決)

第1回定例会で可決等した

議案・請願

市長提出議案95件中……………95件

(可決89件、同意6件)

議員提出議案7件中……………7件

(可決)

請願3件中……………0件

(採択)

■以上の中から主なものをお知らせします。なお、全ての議案名と結果は、*市議会ホームページで御覧いただくか、議会事務局へお問合せください。

その1 臨時会

令和6年度1月補正予算案を可決しました

本臨時会では、今後の降雪量見込みに基づく除排雪経費のほか、住民税均等割のみ課税世帯に対し、1世帯当たり3万円を給付するために要する経費や、エネルギー消費性能の優れたエアコンや冷蔵庫等への買換えに対し、3万円を上限として購入費の4分の1を支給するために要する経費などを計上した一般会計補正予算案(第7号)が提案され、市議会では同議案について、全会一致で可決しました。

その2

令和6年度3月補正予算案を可決しました

今期定例会では、一般会計・特別会計・企業会計に係る計11件の補正予算案が提案され、一般会計に関する議案として、開会日に保育士等の処遇改善に伴う人件費の上昇等の対応に要する経費を計上した補正予算案(第8号)が提案

その3

令和7年度当初予算案を可決しました

されたほか、閉会日に過去最大となる除排雪経費を計上した補正予算案(第9号)が提案されました。市議会では、これら議案について全て原案のとおり可決しました。

●令和6年度青森市一般会計補正予算額(第7号から第9号まで)
85億6千236万6千円
補正後の予算額
1千438億350万6千円

今期定例会では、令和7年度当初予算案のうち、「みなとまち・あおもり誕生400年『未来への船出』予算」として、過去最大の予算規模となった一般会計をはじめ、7つの特別会計、5つの企業会計及び40の財産区特別会計の計53件の議案が提案されました。

市議会では、これら議案(概要は次頁)のうち、一部予算案については採決を行い、その他の予算案については全会一致で、全て原案のとおり可決しました。

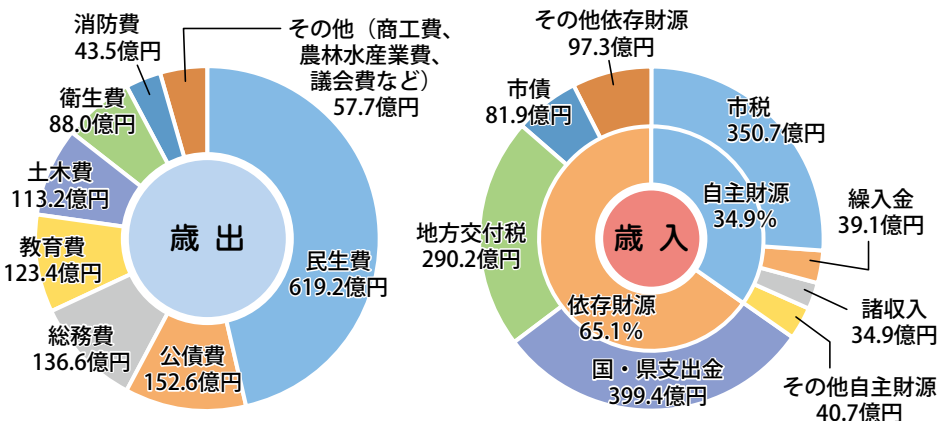
令和7年度特別会計・企業会計当初予算額

会計名	予算額	対前年度増減
競輪	330.8億円	55.3億円
国民健康保険	255.7億円	△0.8億円
卸売市場	7.0億円	△1.2億円
介護保険	316.3億円	2.1億円
母子父子寡婦福祉資金貸付金	1.2億円	△0.3億円
後期高齢者医療	41.0億円	1.1億円
駐車場	2.4億円	0.2億円
合計	954.4億円	56.4億円
病院	139.4億円	1.2億円
水道	91.3億円	△8.1億円
自動車運送	30.2億円	0.4億円
下水道	165.8億円	△1.4億円
農業集落排水	6.8億円	1.0億円
合計	433.5億円	△6.9億円

令和7年度青森市一般会計当初予算額

1334億2200万円

(対前年度：+47億9800万円)



その4

青森市市税条例等の一部を改正する条例案を可決しました

●青森市市税条例等の一部を改正する条例

今期定例会では、市税及び市税以外の歳入に係る督促手数料を廃止するための関係条例案が提案されました。

改正内容については、地方税統一QRコードを活用した地方税の納付がスタートするなどの税金の利便性・公平性や徴収業務の効率化等を図るため、青森市市税条例のほか、市税以外の歳入に係る督促手数料を規定している青森市土地改良事業負担金、青森市道路占用料徴収条例、青森市下水道条例等についても督促手数料に関する規定を削除するものです。

市議会では、同案について、全会一致で可決しました。

その5

青森市営住宅管理条例の一部を改正する条例案を可決しました

●青森市営住宅管理条例の一部を改正する条例

今期定例会では、市営住宅を活用し、子どもを産み育てやすい住まいを確保できる環境整備を図ること、また、円滑な入居を図る等、所要の改正を行うための条例案が提案されました。

改正内容については、市営住宅に入居する際の収入要件を月額21万4千円に緩和している世帯のうち、子育て世帯を、現行の「小学校就学前の子がいる世帯」から「18歳に達する日以後の3月31日までの間にある子がいる世帯」に拡大し、また、若者夫婦世帯として「いずれかが39歳以下の夫婦世帯」を新たに対象に加えるほか、連帯保証人を2名から1名以上に変更する等の改正を行うものです。

市議会では、同案について、全会一致で可決しました。

その6

青森市駐車場条例の一部を改正する条例案を可決しました

●青森市駐車場条例の一部を改正する条例

今期定例会では、青森駅前公園地下駐車場及びアウガル駐車場について、駐車場施設の有効活用及び利用者の利便性の向上を図るため、駐車料金等、所要の改正を行う条例案が提案されました。

改正内容については、普通駐車・夜間駐車の前算金額において、24時間ごとの上限額として千円を新たに設定するほか、定期駐車料金として、午前5時から午後7時まで使用する場合は月額1万5千300円など、4つの料金体系を新たに追加する等、所要の改正を行うものです。また、24時間入出庫できるよう自動精算機を導入することとしており、7月下旬の供用開始を予定するものです。

市議会では、同案について、全会一致で可決しました。

質

問

質

疑

こんなことを

聞きました。

第1回定例会において行われた一般質問、予算特別委員会等の議案質疑の中から、一議員につき一項目の質問・質疑及び答弁の要旨を掲載しています。

●質問・質疑を行った議員・委員数

●第1回臨時会

議案質疑……………3名

●第1回定例会

一般質問……………25名

予算特別委員会……………19名

(大矢委員長、蛸名副委員長)

議案質疑(閉会日)……………2名

※本会議での一般質問等の様子については、生中継及び録画映像の配信をしていますので、下の2次元コードからアクセスの上、御覧ください。



平和行政



A 総務部長 令和7年は青森空襲から80年を迎える節目の年であることから、本市の小学4年生から6年生まで及び中学生を対象とする平和をテーマとした標語コンクールの開催や、青森中央高等学校演劇部による青森空襲を題材にした演劇の青森市平和祈念式典での上演のほか、作成から8年以上が経過した青森市平和マップの更新などを予定しています。



戦後80年記念事業

について

立憲民主・社民 蛸名 和子

Q

令和7年はアジア太平洋戦争が終わって80年の節目の年ですが、本市の戦後80年に向けた当該事業の取組についてお示しください。

青色は、総務企画常任委員会に関連する質問・質疑です。

防 災



災害ボランティアセンター

について

創青会 木村 淳司
きむら じゅんじ

Q

今冬の豪雪時に災害ボランティアセンターを立ち上げなかった理由をお示しください。

A

総務部長

当該センターの設置に

ついて、本年1月10日に市社会福祉協議会と協議した結果、屋根雪除雪については、同月4日に災害救助法が適用となったことから、住家が全壊するおそれがある場合等に、市が緊急的に屋根雪除雪等を実施していることや、市職員によるスノーレスキュー隊による福祉除雪を実施していることなどを総合的に判断して、当該センターの設置に至らなかったものです。

防 災



避難所運営の

デジタル化について

公明党 軽米 智雅子
かみまい ちかこ

Q

防災放送アプリやLINEを使った避難所受付など、デジタル技術を用いて災害対応の高度化を図るべきだと思いますが、市の考えをお示しください。

A

総務部長

避難所運営のデジタル

化は、避難所運営業務従事者だけでなく、避難者の負担軽減にもつながると認識していますが、デジタル機器の操作の習熟が困難な方への対応など、メリット・デメリットを慎重に見極めなければならぬことから、市では、他自治体における導入状況や効果などについて研究しているところです。

総 務



こども・若者政策課の

役割について

市民クラブ 工藤 健
くどう けん

Q

多様な若者の声を聞き、その声を生かし、地域課題を共に考えていくことが若者政策には欠かせないと考えますが、令和7年度から新たに設置されるこども・若者政策課の役割についてお示しください。

A

総務部長

こども・若者政策課で

は、子育て先進都市の実現に向け、青森市こども計画に掲げること・若者施策に関する総括、企画調整など中枢を担うこととしており、福祉部、保健部、教育委員会などの関係部局と連携しながら、各種取組の推進とさらなる支援を図ろうとするものです。

総務



青森市観光イメージキャラクター
ねぶたん
©AOMORI/N・HCP

A 総務部長 令和7年度組織・機構の見直しにおける「ねぶたプロモーション室」については、経済部観光課の課内室として新たに設置するものであり、観光課が所管する青森ねぶたに関する事業を集約し、青森ねぶたを専門的に担当する部署として、青森ねぶた祭の活性化や青森ねぶたを活用した魅力の創出などに取り組むこととしています。

Q 令和7年度組織・機構の見直しにおいて、観光課内に設置される「ねぶたプロモーション室」の概要をお示しください。



「ねぶたプロモーション室」について
創青会 館山 善也
たぐやま よしや

人口減少対策

A 企画部長 特色のある取組として、洋上風力発電関連産業への市内事業者の参入支援及び関連企業の誘致の推進のほか、子どもの医療費や保育料等、子育てに係る経済的負担の軽減などの支援の充実や、ICT等の先進的技術を活用した効果的・効率的な雪対策の推進など、DX先進都市青森市の実現に向けてデジタル技術を活用する取組等が挙げられます。

Q 人口減少対策の取組をさらに加速させるための青森市総合戦略において、本市ならではの特色のある取組についてお示しください。



青森市総合戦略（2024-2028）について
日本共産党 天内 慎也
あまな い しんや

地域コミュニティ

A 市長 町会長向け研修会における本市の支援制度等の情報提供や、地域づくりと協働についての外部講師による講演会の開催のほか、各地域における事業実施や会議運営等をサポートする地域担当職員を配置し、地域活性化に向け協働による解決を目指しています。

Q 高齢化と担い手不足が重なり、運営を維持することもままならない町会がはじめていますが、災害時の対応など、以前にも増して多くの協力を期待するようになっていく町会の再生・活性化に向けた市の考えをお示しください。



町会の活性化について
創青会 里村 誠悦
さとむら せいえつ

緑色は、文教経済常任委員会に関連する質問・質疑です。

まちづくり



みなとまち・あおもり
誕生400年記念ロゴマーク

Q 本市が開港400年を迎えることについて、市民や児童・生徒に浸透していないと思いますが、みなとまち・あおもり誕生400年推進事業のPR方法をお示しください。

A 経済部長 令和6年度は、小・中学校や青森駅等へのポスター掲示、3台のラッピングバスの運行、特設ホームページの開設などを行っています。来年度はこれに加え、大型イベント等でのPR、記念ロゴマークを使用したピンバッジ等の作成、市議会や庁内職員向けにデザインした400年記念名刺台紙の配布などを予定しています。



みなとまち・あおもり
誕生400年推進事業について

市民クラブ 柿崎 孝治
かきやまき こうじ

まちづくり



移転を予定している
盛運輸サンドーム

Q 統合新病院整備に伴い、盛運輸サンドームは青い森セントラルパーク県有地部分への移転を基本としています。新設施設の規模・機能についてお示しください。

A 経済部長 令和7年度は、新たなサンドームに必要な機能や規模等の検討を進めるに当たり、有識者会議を立ち上げ、委員からの御意見を伺う予定です。また、民間活力導入可能性調査を通じて事業手法を検討することとしており、同年度中には施設の機能や規模を含む整備方針とスケジュールについてお示ししたいと考えています。



移転予定のサンドームの
規模や機能について

市民クラブ 木下 靖
きのした やすし

経済

Q 群馬県太田市における、5%以上の賃上げを実施した中小企業等に最大40万円を支給する支援など、直接支援を行う他自治体の取組を参考に、本市も新たな支援策を検討すべきだと考えますが、市の見解をお示しください。

A 経済部長 他自治体の時限的な支援事例は承知していますが、本市では、多くの中小企業が持続的に賃上げを実施するには適切な価格転嫁や生産性向上を通じた利益の確保が重要と考えており、引き続き、関係機関と連携等を図り、支援に取り組んでまいります。



中小企業の賃上げ支援
について

日本共産党 万徳 なお子
まんとうく まんぞく

しごと創造



青森市しごと創造戦略

について

公明党 工藤 夕介
くどう ゆうすけ

Q 若年世代が将来に希望を持てる環境づくりや雇用の創出のため、市民等を挙げた取組が重要かつ急務と考えますが、青森市しごと創造戦略の概要をお示しください。

A 市長 本戦略は、地域経済に活力を生み出す新産業の創出や、時代を先導する産業の競争力・基盤強化等の5つの柱を掲げ、産学官が連携して新たに取り組む共創プロジェクト等を位置づけるとともに、その事業化に向けた推進体制として、あおり未来共創ラボを設置し、多様な主体と連携しながら研究することとしています。

教育



学びの多様化学校の設置について

日本共産党 村川 みどり
むらかわ みどり

Q 本市において、不登校等特認校を実施することは、前向きな取組の一つではありますが、転校先への送り迎えなどについて心配の声が寄せられています。国において、全国に300校の設置を目標としている学びの多様化学校が不登校対策の鍵の一つと考えることから、当該学校を設置すべきだと思いますが、市の考えをお示しください。

A 教育委員会事務局理事 市では、札幌市にある学びの多様化学校を視察し、施設の状態や運営の仕方などについて、情報収集に努め、研究しているところです。

※学びの多様化学校（いわゆる不登校特例校）とは、不登校児童・生徒の実態に配慮して特別に編成された教育課程に基づく教育を行う学校のこと。

教育



不登校等特認校について

公明党 渡部 伸広
わたなべ のぶひろ

Q 学びの多様化学校と不登校等特認校との違いをお示しください。

A 教育長 本市が実施する不登校等特認校は、通常学級、特別支援学級、校内教育支援センターとの交流が可能となっており、一人一人に個別のプログラムを作成し、きめ細かな指導が可能です。また、学びの多様化学校は申請から実施までに2年程度要し、県に1校程度の設置ですが、特認校は自治体の判断で迅速に実施が可能です。市内小・中学校各3校を予定し、児童・生徒が転校する際、学校の選択が可能となっています。

農林水産

Q 今冬の豪雪による農業被害への市の支援についてお示しください。

A 市長 市では、令和7年度において、被害樹の修復や園地の早期復旧を図り、収量や品質の低下を防ぐための支援策として、1つに、リンゴなどの果樹が豪雪被害を受けた際に、その修復に要する資材の購入費等に対して支援する被災果樹栽培農家支援事業、2つに、豪雪により倒壊したパイプハウスの改修や露地栽培へ作付転換するための撤去費用に対して支援する青森市被災施設園芸農家支援事業を実施することとしています。



豪雪による
農業被害について
立憲民主・社民 小原 ひとみ

農林水産

Q 農業機械・設備の再利用に向けた取組についてお示しください。

A 農林水産部長 市では、離農や規模縮小等により利用されていない農業機械やパイプハウス、簡易トイレ等の農業関連施設・設備について、利用を希望する方へのマッチングとして、(仮称)青森市農機具等マッチング事業の検討を進めています。今後、青森農業協同組合等の関係機関や農業者にも直接、御意見等を伺うなどして、環境が整い次第、事業を開始したいと考えています。



農業機械や設備の
再利用について
自民クラブ 澁谷 洋子

農林水産

Q スマート農業を推進するため、高精度の位置情報を使って農業機械の自動化を可能にする当該基地局の整備状況をお示しください。

A 農林水産部長 本市では、令和5年度には、荒川市民センター屋上及び浪岡野沢公民館敷地内に1基ずつ、また、令和6年度には、北中学校屋上及び浪岡庁舎屋上に1基ずつGNSS基地局を整備しているところです。運用開始となる令和7年4月から、青森地区では主に後潟・奥内エリアで、浪岡地区では主に大杉・五郷エリアでの利用が可能となります。



RTK-GNSS
基地局の整備について
自民クラブ 長谷川 章悦

※RTK-GNSSとは、GNSS(全球測位衛星システム)のみで生じる誤差を数センチメートルまで縮小できる測位方法のこと。



環境変化に強い漁業生産
体制構築事業について

自民クラブ 中田 靖人
なかつた やすひと

Q 令和7年度新規事業である環境変化に強い漁業生産体制構築事業の支援内容についてお示しくください。

A 農林水産部長 本市水産業の柱であるホタテガイ養殖は、高水温により生産量が減少するなどの環境にある中、高水温等に影響されにくい水産業の生産体制づくりを進める必要があると考えています。本事業は漁業協同組合等が取り組む新たな魚種の養殖試験等に必要経費を支援するものであり、カキの種苗及び養殖がこの整備、ナマコの採苗器製作に係る資材購入費等へ支援を予定しています。

農林水産



デマンド型交通の
運行について

自民クラブ 小豆畑 緑
あずはた みどり

Q 令和7年度に実施する青森地区のデマンド型交通運行事業について、その事業概要と令和6年度の実証運行事業との違いや改善点についてお示しくください。

A 市長 当該事業の利用が可能な地区は、孫内地区、旗の台団地区及び新城平岡団地地区を予定しています。また、令和6年度の実証運行の課題等を踏まえ、運行期間を令和7年10月1日から令和8年3月31日までとし、利用実態にに応じた運行日や運行時間帯の見直しのほか、運賃設定についても検討しています。

交通



除排雪に係る契約形態
の見直しについて

日本共産党 赤平 勇人
あかひら ゆうと

Q 雪の降り方の変化に応じて除排雪の在り方を変えていくことが必要であり、市と除排雪事業者が結ぶ全面委託工区の契約をシーズン契約から単価契約（出来高払い）に切り替えるべきだと思いますが、市の考えをお示しくください。

A 都市整備部理事 市としては、契約形態によるメリット及びデメリットを改めて検証するとともに、市民生活の安定と道路交通を確保するために、持続可能な除排雪体制の構築に向け、今後の契約形態について、（仮称）青森市除排雪検討会議で検討してまいります。

除排雪

除排雪



除排雪事業について

市民クラブ 竹山 美虎
たけやま よしとむ

Q

今冬のような豪雪災害のときほど、ボランティア団体等、様々な団体からの意見を聴取して、除排雪を実施すべきと思いますが、市の考えをお示しください。

A

都市整備部理事 ハンドガイド式

小型除雪機の貸与を希望している団体等とは、実務的な打合せ等を行っています。ボランティア団体等からの意見聴取については、地域住民と行政とのパートナーシップによる雪対策において重要な役割を担っていると認識しているため、さらなる連携について検討していきたいと考えています。

除排雪



シーズン契約の変更額の考え方について

無所属 相馬 純子
そうま じゅんこ

Q

今期定例会で提案された除排雪対策事業に係る約12億2千万円の補正予算における、シーズン契約の変更額の考え方をお示しください。

A

都市整備部理事 今冬については、

当初契約時の基準値である500センチメートルを超えたことから、累計降雪量に応じた委託料の変更を行うこととしており、算定期間とした令和6年11月19日から翌年3月13日の累計降雪量が654センチメートルであったことから、シーズン契約を締結している108事業者において、当初契約額から30・8%の増額等をしたものです。

病院



統合新病院整備に係る用地取得について

無所属 中村 美津緒
なかむら みつお

Q

統合新病院整備に係る用地取得に当たり、地権者を強制的に立ち退きさせることはあってはならないと思いますが、地権者の同意が得られない場合、市は法的手段を用いて強制的に用地を取得するのか、考えをお示しください。

A

都市整備部理事 事業用地取得のため、土地収容法を適用しての事業用地の取得事例としては、土地所有者が不明との理由による場合

などを含めて、本市ではこれまで用地取得に応じないという理由で強制的に事業用地を取得した事例はありません。



埼玉県八潮市の道路陥没事故に対する本市の対応について

公明党 山本 武朝

Q

当該事故が起きた下水道管は設置後40年超が経過していました。国土交通省によると、30年後には全国の下水道管の総延長の約4割が布設後50年を超える見込みとのことですが、本市の下水道管の老朽化対策をお示しください。

A 水道部長

本市において、令和5年度末で布設後50年以上を経過した下水道管は、全延長の約14%（170キロメートル）を占めており、劣化が顕著な管を対象に、平成22年度から管の内側へ更生材を巻き付けるなどの工法で管の強度を保つ管更生を実施しています。



管更生の施工前(左)と後(右)

健康づくり



高血圧対策について

立憲民主・社民 藤田 誠

Q

高血圧予防の指標である尿ナトリウムの測定について、本市における取組をお示しください。

A 保健部長

尿ナトリウムは、尿中のナトリウムとカリウムの比率で、塩分の摂取と野菜の摂取のバランスを表す指標の一つであり、塩分に対して、野菜や果物の摂取割合が低いと尿ナトリウム比は高くなる傾向があり、日頃の食生活や生活習慣を見直す目安として、高血圧予防・管理の指標に用いられています。市では、令和5年度から血管いきいき講座やQOL健診において測定を実施しています。

子育て



子どもの居場所としての児童館について

無所属 山田 千里

Q

青森市こども計画に位置づけられている児童館の役割と今後の方向性をお示しください。

A 福祉部長

児童館は、地域における遊び及び生活の援助と子育て支援を行い、子どもの心身を育成し情操を豊かにすることを目的とする施設です。また、地域の方々の書道や太鼓などのクラブ活動等の実施のほか、児童館同士の合同行事など、子どもたちがたくさんのお会い・交流・活動などを経験できるよう様々な行事を行っており、引き続き、様々な活動・体験機会の充実に努めてまいります。

福祉



事業者への合理的配慮の
提供義務化の周知について

自民クラブ 関 貴光
せき たかみつ

Q

障害者差別解消法が改正され、昨年4月から、障害のある方への合理的配慮の提供が義務づけられました。様々な課題がいまだにあると考えます。同法に規定される合理的配慮に係る市の取組状況についてお示しください。

A

福祉部長 市では、事業者の合理的配慮の提供が義務化されることに伴い、その周知を図るため、市内約3千の事業者へチラシを配布するとともに、令和6年度からは事業者に対し、法改正や合理的配慮の具体的な対応事例を内容とした出前講座を実施しています。

福祉



老人福祉施設整備費
補助金交付事務について

創青会 小倉 尚裕
おくら なたかひろ

Q

私が令和6年第1回定例会で質問した広域型特別養護老人ホームの建て替えに係る補助金制度について、令和7年度に新たに予算計上するに至った背景と考えをお示しください。

A

福祉部長 運営事業者への整備意向等の調査に対する意見や他都市の状況、さらには現在入所している高齢者が引き続き安心して介護サービスを利用できるようにするためのセーフティーネットとして、広域型特別養護老人ホームの改築に対する補助制度は必要であると判断したところです。

福祉



介護予防・日常生活支援
総合事業について

市民クラブ 奈良 祥孝
なら よしたか

Q

本市において、介護予防・日常生活支援総合事業における通所型サービス・活動Aについて、検討する考えはないかお示しください。

A

福祉部長 市では、介護度の有無に関係なく、全ての高齢者等が参加できる一般介護予防やこころの縁側づくり事業などに力を入れて取り組んでおり、利用対象者が限定される通所型サービス・活動Aは実施していませんが、どのようなサービスが有効なのかについては、介護保険制度の給付と負担等も考慮しながら、次期計画の策定過程において検討してまいります。

※通所型サービス・活動Aとは、市町村が直接または委託により実施するものであり、利用対象者が、要支援者、事業対象者及び継続利用要介護者であるもの。

農林水産省に対し要望活動を行いました

市議会では、本年3月18日に、西市長と共に、奈良岡議長・木戸副議長・各会派の代表者が、青森県選出国會議員にも同行いただき、山本佐知子農林水産大臣政務官に対し、今冬の豪雪による農業被害及び養殖ホタテガイ高水温被害に係る支援のための要望書を手交しました。

主な要望内容は以下のとおりです。

- 1 被災りんご園地等の復旧に対する支援
- 2 被災パイプハウス等農業用施設の復旧に対する支援
- 3 高水温の環境下においてもホタテガイ及びホタテガイに代わる新たな魚種等の安定生産が可能となるよう養殖技術の開発・確立に向けた試験研究への支援及び技術的助言



要望書手交の様子

みなとまち・あおもり誕生400年、国スポ・障スポ開催をPR

本市は、令和7年に青森開港400年を、令和8年にまちづくり400年の節目を迎える年となります。また、令和8年は、第80回国民スポーツ大会・第25回全国障害者スポーツ大会が開催されます。これに伴い、市では機運醸成のための取組を様々行っていますが、市議会でも、市長部局と連携の下、青森開港400年及び国スポ・障スポをデザインした名刺でPRを行っていきます。



名刺デザイン(例)

編集後記

議会だより編集会議
副会長 柿崎 孝治

災害と言われた大雪により、市内のリンゴ園や公園では木に積もった雪の重さによる「枝折れ」や「幹が裂ける」などの被害が発生しました。また、陸奥湾の海水温の上昇により、ホタテガイが大量にへい死し、本市の漁業生産は甚大な被害を受けています。紙面を通じ、本市の様々な取組を分かりやすくお伝えできるよう努めてまいります。

令和7年第1回臨時会の傍聴者は1人、インターネット生中継へのアクセス件数は52件でした。
令和7年第1回定例会の傍聴者は78人、インターネット生中継へのアクセス件数は1,502件でした。
令和7年第2回定例会は5月30日開会の予定です。

